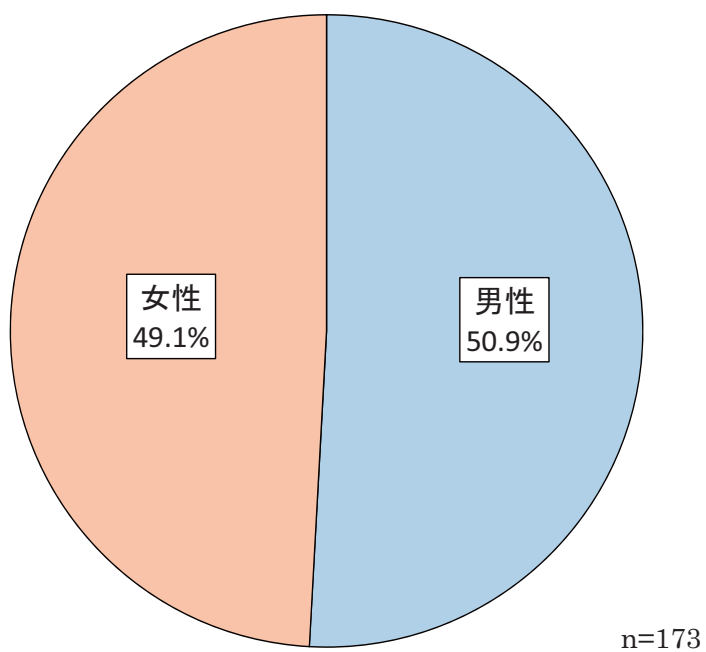


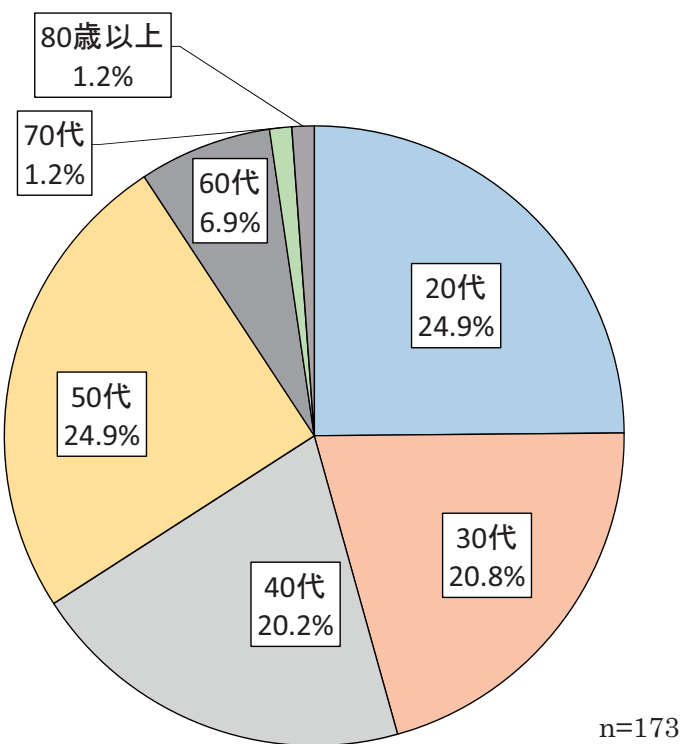
第3部 調査結果(転入者)

1 回答者の属性

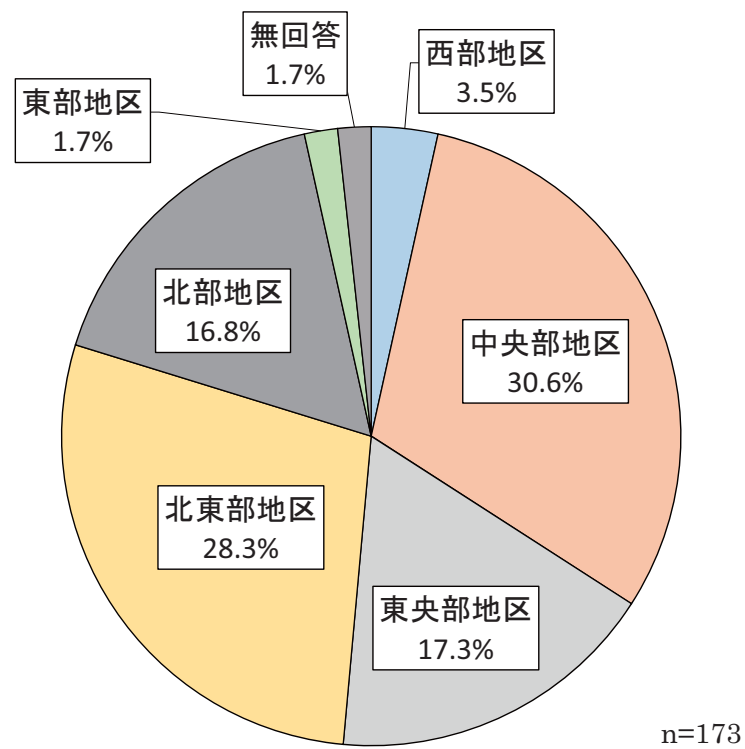
(1) 性別



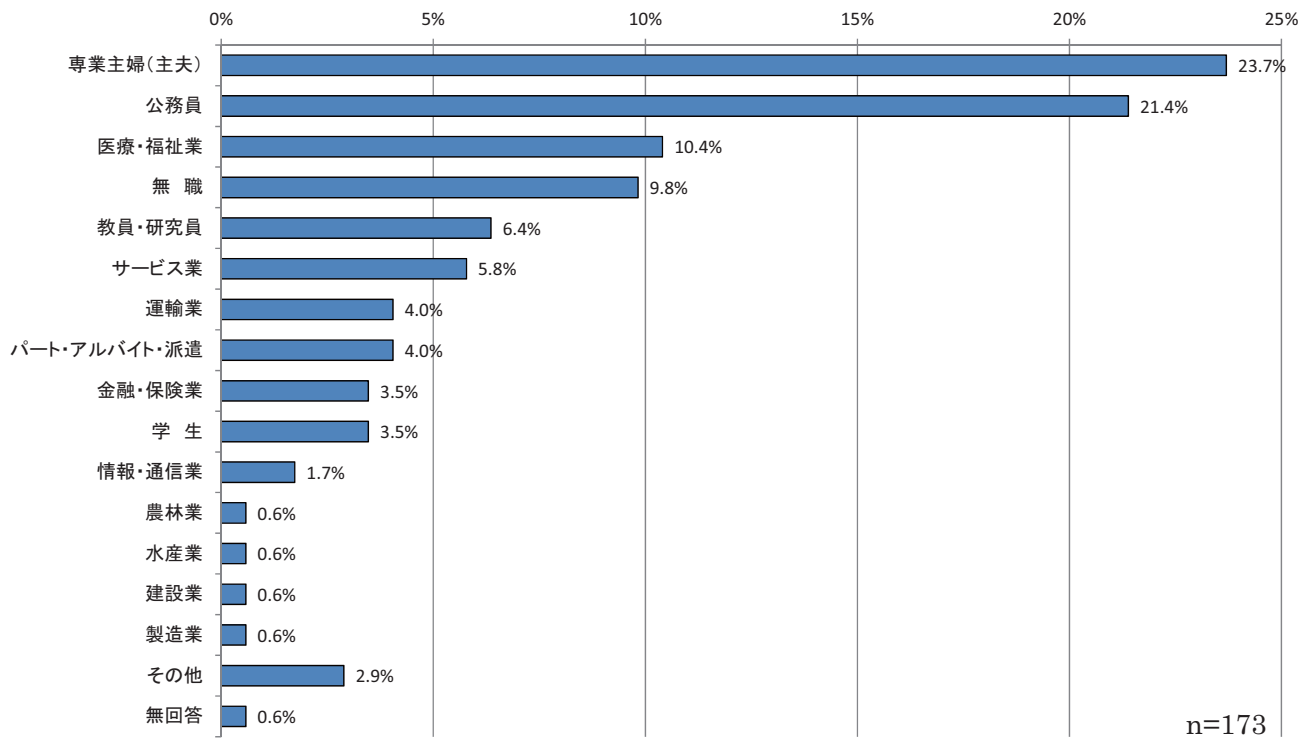
(2) 年代



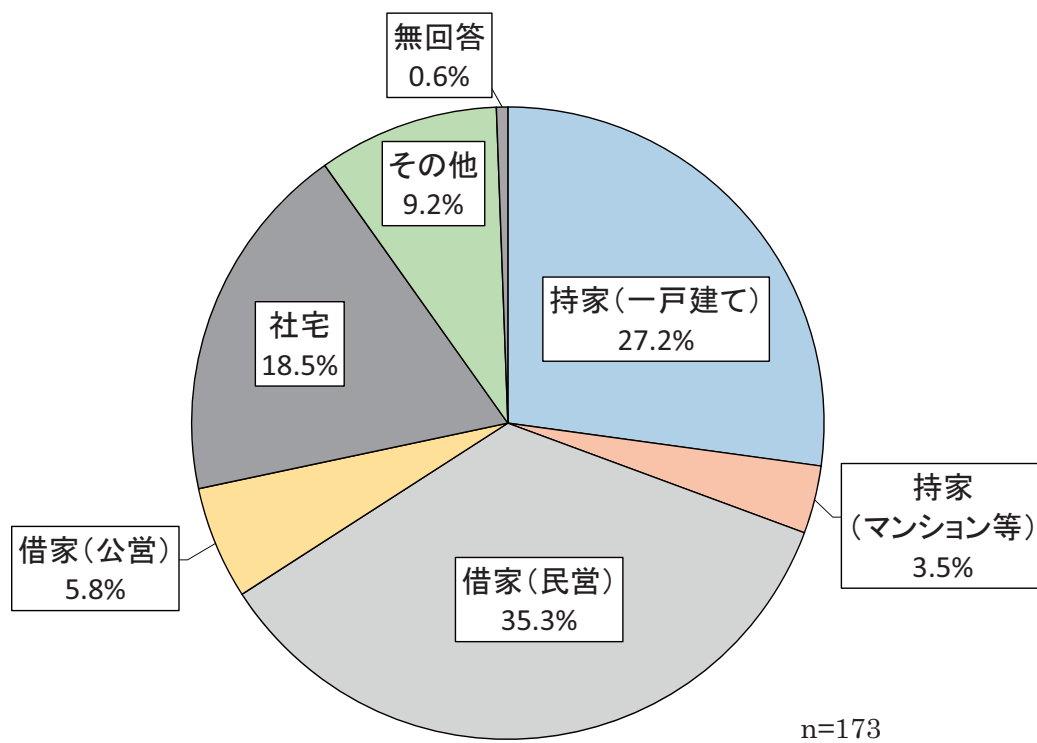
(3) 居住地



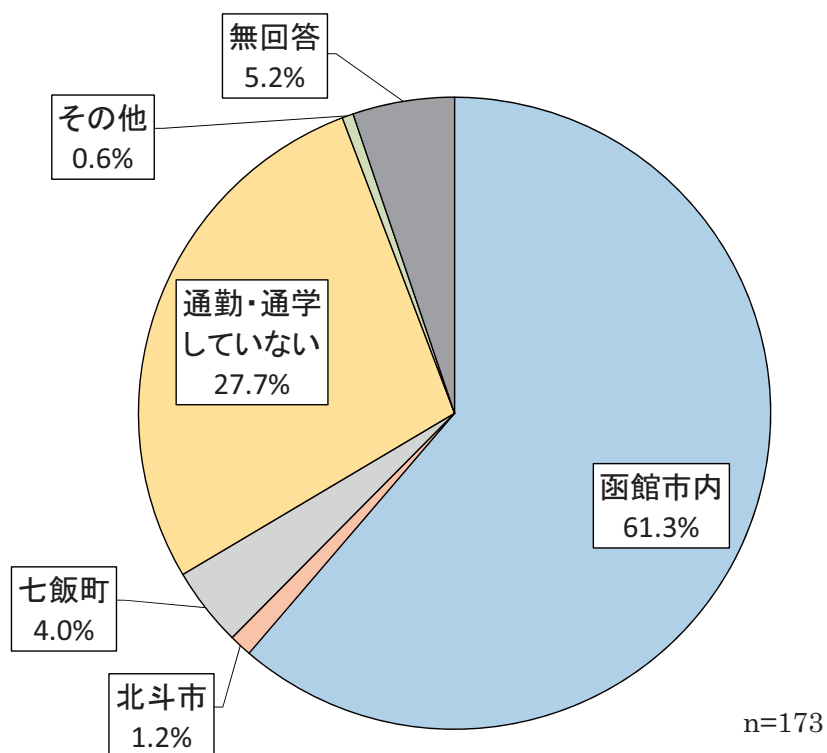
(4) 職業



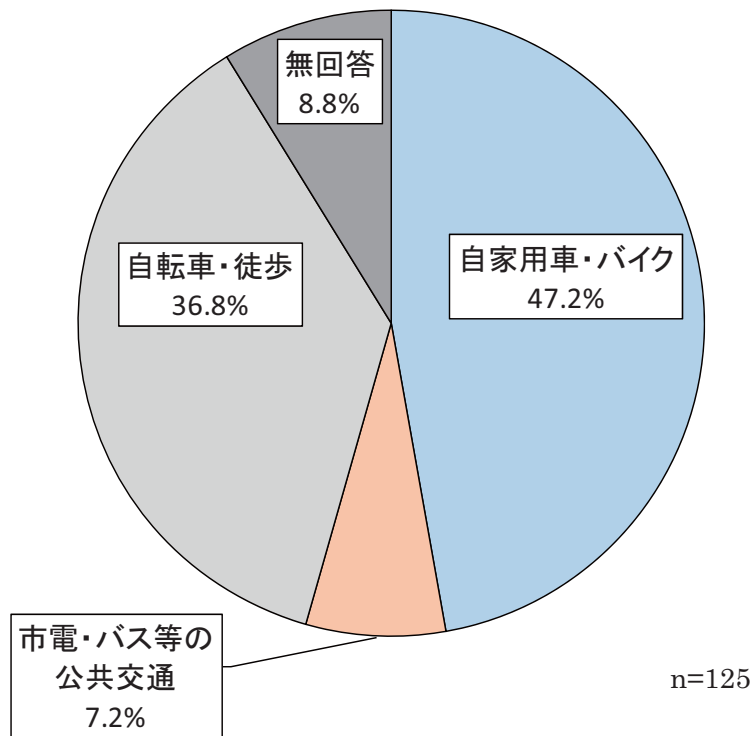
(5) 住宅形態



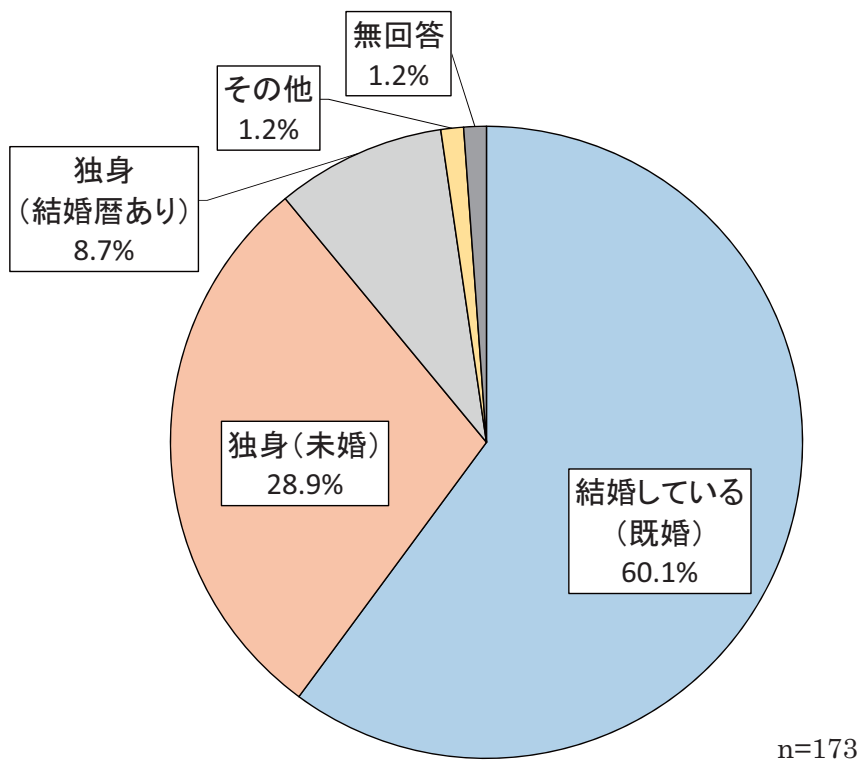
(6) 通勤・通学地



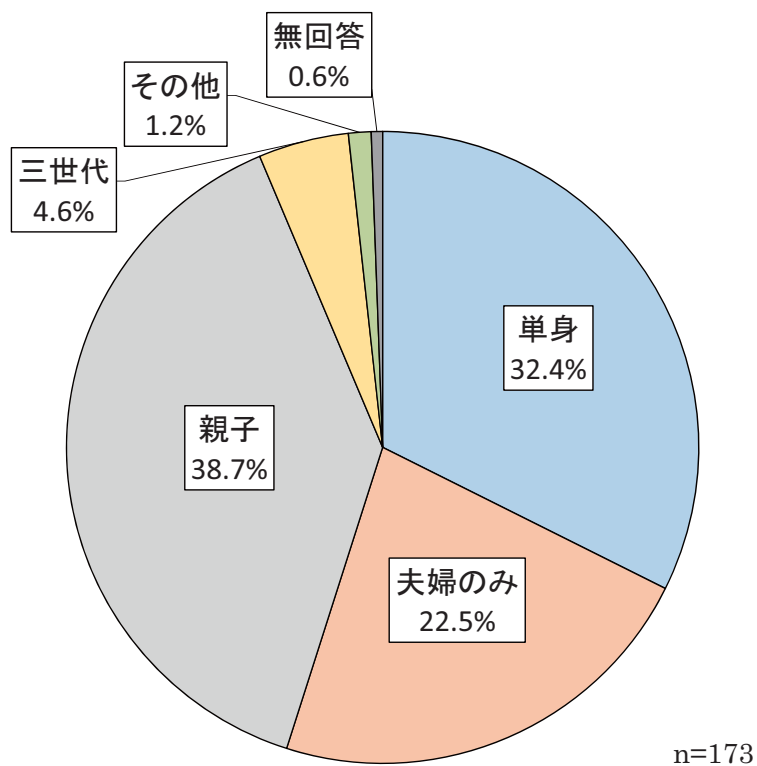
(7) 通勤・通学手段



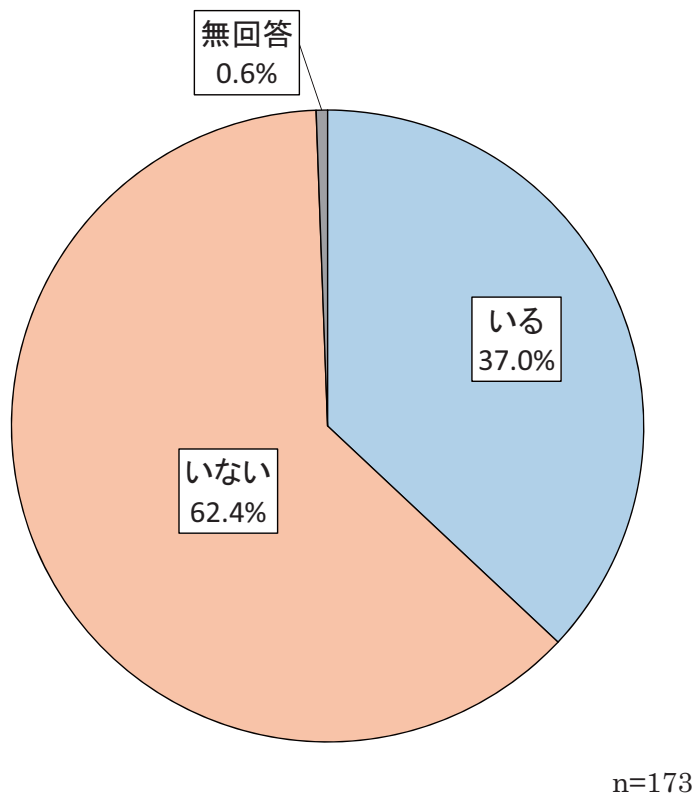
(8) 結婚



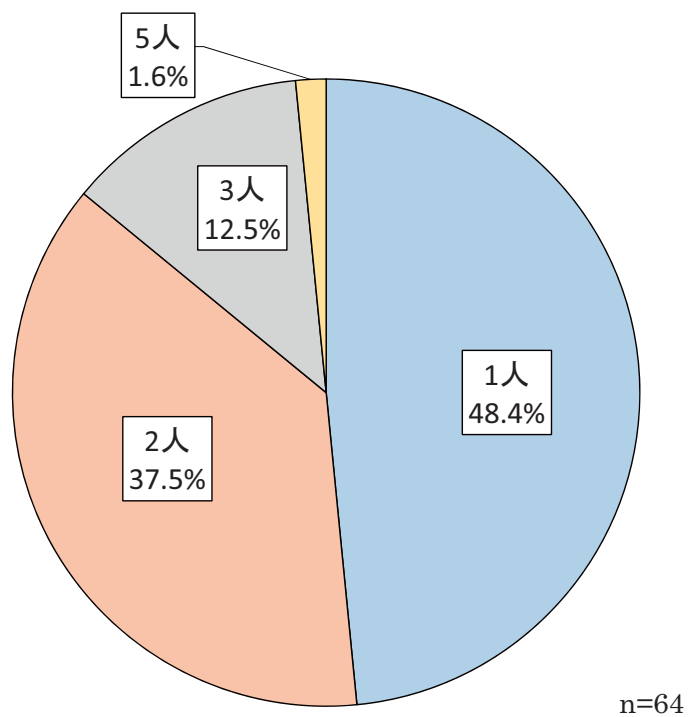
(9) 家族構成



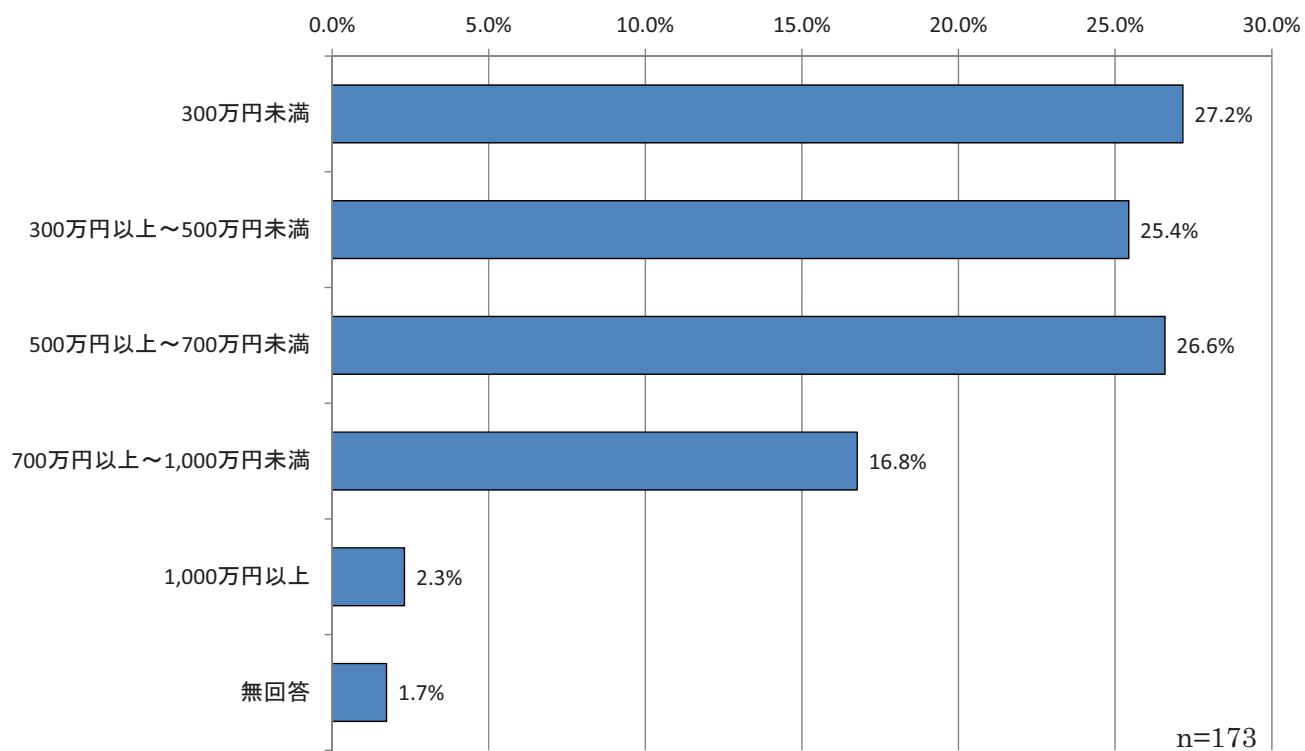
(10) 養育中の子どもの有無



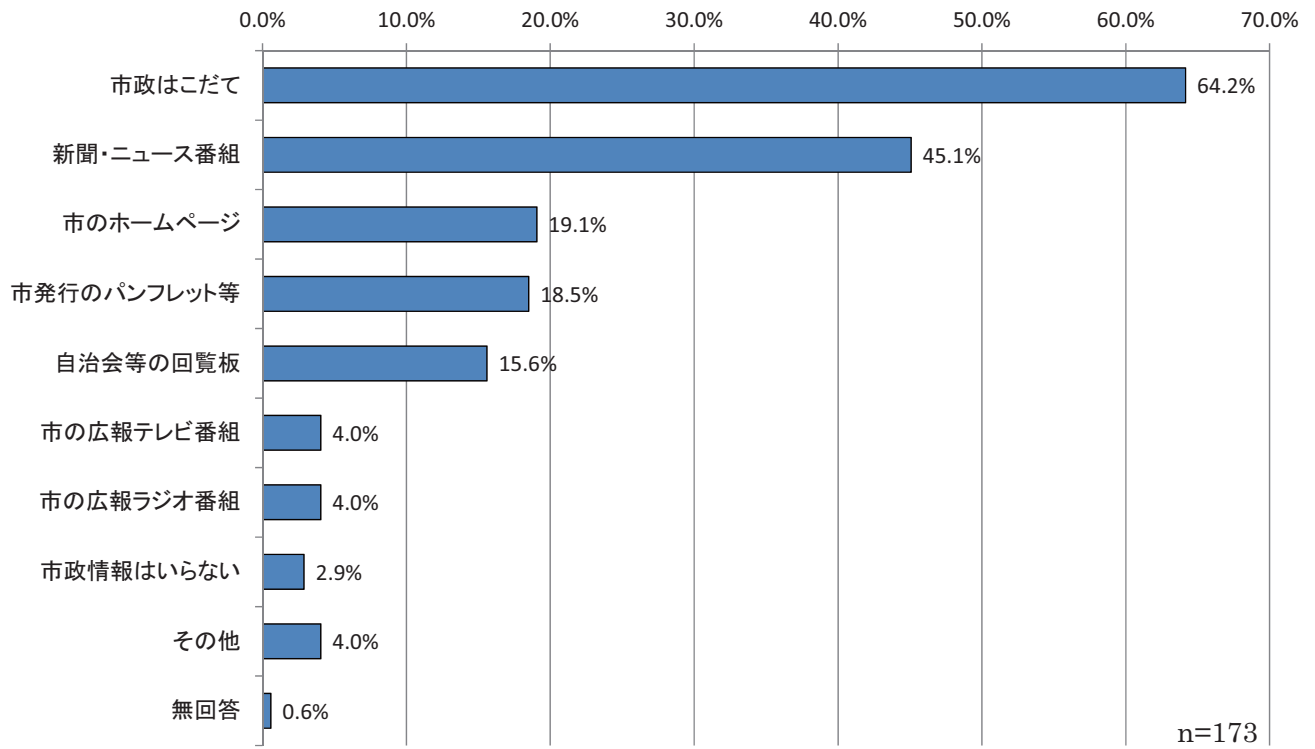
(11) 養育中の子どもの数



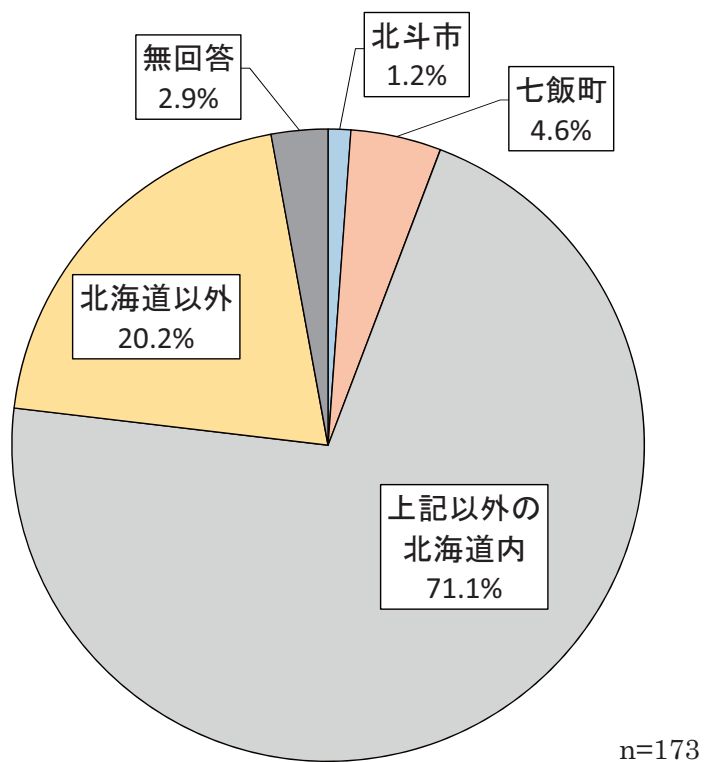
(12) 世帯年収



(13) 市政情報入手方法



(14) 転入前の住まいと内訳



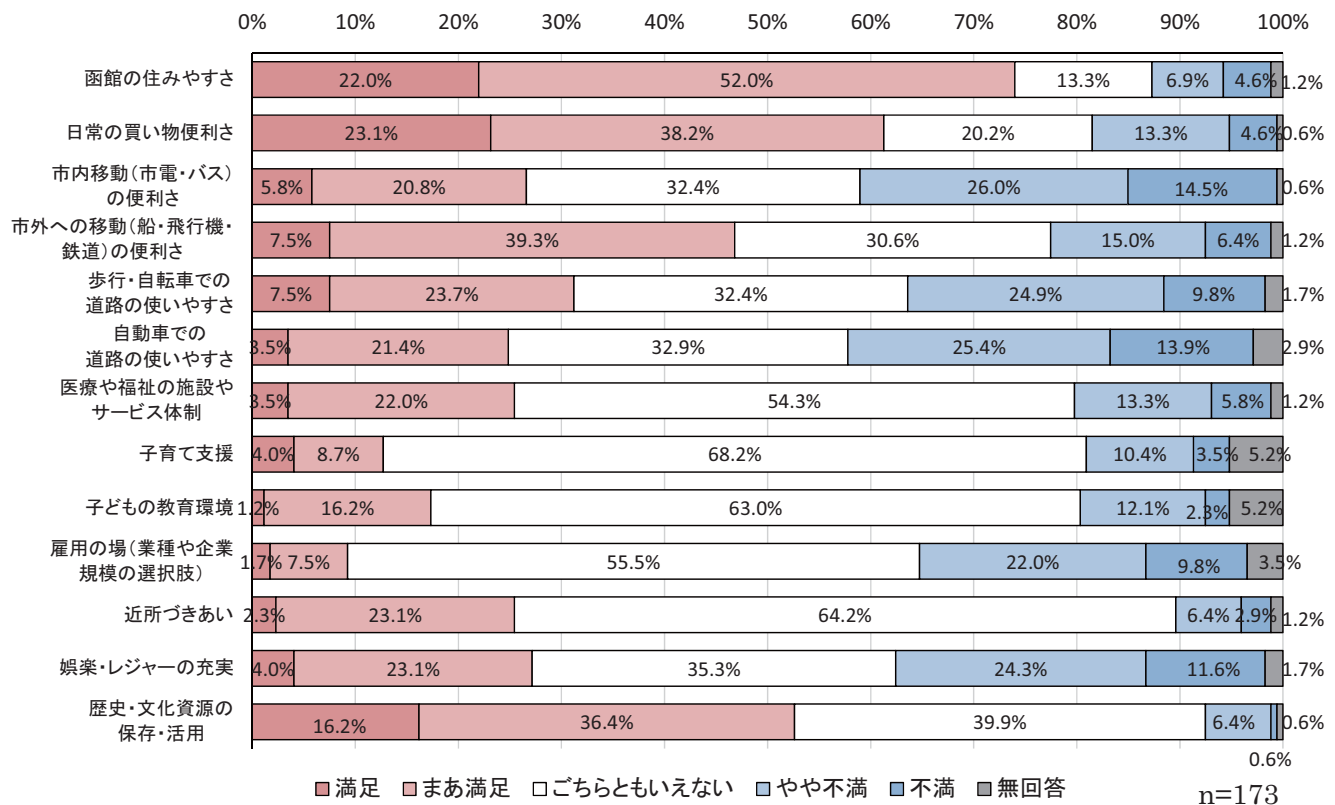
上記以外の北海道内 (n=123)			北海道以外 (n=35)		
行き先	回答数	割合	行き先	回答数	割合
札幌市	53	43.1%	青森県	6	17.1%
旭川市	7	5.7%	神奈川県	5	14.3%
八雲町	6	4.9%	宮城県	4	11.4%
江差町	5	4.1%	東京都	4	11.4%
北見市	4	3.3%	茨城県	3	8.6%
苫小牧市	3	2.4%	その他の府県	11	31.4%
釧路市	3	2.4%	無回答	2	5.7%
室蘭市	4	3.3%			
松前町	3	2.4%			
乙部町	2	1.6%			
江別市	2	1.6%			
滝川市	2	1.6%			
知内町	2	1.6%			
その他の市町	21	17.1%			
無回答	6	4.9%			

2 「函館のまち」に関する満足度調査結果

(1) 函館のまちに対する満足度

問 2

函館のまちに対し、あなたはどの程度満足していますか？
それぞれの項目ごとに1つ選んでください。



「函館の住みやすさ」、「日常の買い物の便利さ」については、60%以上の人が満足している一方、「市内移動（市電・バス）の便利さ」、「自動車での道路の使いやすさ」は約40%の人が不満に感じています。

また、各項目の満足度スコア（「満足」と「やや満足」と回答した人の割合から、「不満」と「やや不満」と回答した人の割合を引いたもの）を算定し、分析を行いました。

この数値がプラスの場合は、「満足」「やや満足」と答えた人の数が、「不満」「やや不満」と回答した人の数を上回っていることを示しています。

分析の結果は次ページのとおりです。

①項目間の満足度スコアの状況

	全体	順位	20代	順位	30代	順位	40代	順位	50代	順位	60代	順位	70代	順位	80歳以上	順位
①函館の住みやすさ	62.4%	1	74.4%	1	41.7%	2	57.1%	1	67.4%	1	75.0%	1	100.0%	1	50.0%	5
②日常の買い物の便利さ	43.4%	3	46.5%	3	30.6%	3	28.6%	4	53.5%	2	66.7%	2	50.0%	3	100.0%	1
③市内の移動（市電・バス）の便利さ	-13.9%	11	-25.6%	13	-30.6%	13	0.0%	8	-2.3%	8	-16.7%	12	-50.0%	7	100.0%	1
④市外への移動（船・飛行機・鉄道）の便利さ	25.4%	4	18.6%	6	11.1%	4	37.1%	3	34.9%	4	0.0%	6	100.0%	1	100.0%	1
⑤歩行、自転車での道路の使いやすさ	-3.5%	9	27.9%	4	-8.3%	10	0.0%	8	-32.6%	12	-8.3%	10	50.0%	3	-50.0%	10
⑥自動車での道路の使いやすさ	-14.5%	12	0.0%	9	-25.0%	12	-31.4%	13	-20.9%	10	16.7%	3	50.0%	3	50.0%	5
⑦医療や福祉の施設やサービス体制	6.4%	6	18.6%	6	8.3%	5	-8.6%	11	4.7%	6	0.0%	6	-50.0%	7	100.0%	1
⑧子育て支援	-1.2%	8	0.0%	9	2.8%	8	-2.9%	10	0.0%	7	0.0%	6	-100.0%	11	0.0%	7
⑨子どもの教育環境	2.9%	7	16.3%	8	5.6%	6	11.4%	6	-9.3%	9	-8.3%	10	-100.0%	11	-50.0%	10
⑩雇用（業種や企業規模の選択肢）	-22.5%	13	-16.3%	12	-11.1%	11	-17.1%	12	-34.9%	13	-33.3%	13	-100.0%	11	-50.0%	10
⑪近所づきあい	16.2%	5	27.9%	4	5.6%	6	22.9%	5	11.6%	5	16.7%	3	-50.0%	7	0.0%	7
⑫娯楽・レジャーの充実	-8.7%	10	0.0%	9	-5.6%	9	2.9%	7	-27.9%	11	0.0%	6	-50.0%	7	-50.0%	10
⑬歴史・文化資源の保存・活用	45.7%	2	60.5%	2	47.2%	1	51.4%	2	37.2%	3	8.3%	5	50.0%	3	0.0%	7

項目間の満足度スコアの状況について、全体では「函館の住みやすさ」が 62.4%と最も高く、「歴史・文化資源の保存・活用」が 45.7%、「日常の買い物の便利さ」が 43.4%で続いています。

一方、「雇用（業種や企業規模の選択肢）」が -22.5%と最も低く、「自動車での道路の使いやすさ」が -14.5%、「市内の移動（市電・バス）の便利さ」が -13.9%で続いています。

②年代別満足度スコアの順位

	全体	20代	順位	30代	順位	40代	順位	50代	順位	60代	順位	70代	順位	80歳以上	順位
①函館の住みやすさ	62.4%	74.4%	3	41.7%	7	57.1%	5	67.4%	4	75.0%	2	100.0%	1	50.0%	6
②日常の買い物の便利さ	43.4%	46.5%	5	30.6%	6	28.6%	7	53.5%	3	66.7%	2	50.0%	4	100.0%	1
③市内の移動（市電・バス）の便利さ	-13.9%	-25.6%	5	-30.6%	6	0.0%	2	-2.3%	3	-16.7%	4	-50.0%	7	100.0%	1
④市外への移動（船・飛行機・鉄道）の便利さ	25.4%	18.6%	5	11.1%	6	37.1%	3	34.9%	4	0.0%	7	100.0%	1	100.0%	1
⑤歩行、自転車での道路の使いやすさ	-3.5%	27.9%	2	-8.3%	4	0.0%	3	-32.6%	6	-8.3%	4	50.0%	1	-50.0%	7
⑥自動車での道路の使いやすさ	-14.5%	0.0%	4	-25.0%	6	-31.4%	7	-20.9%	5	16.7%	3	50.0%	1	50.0%	1
⑦医療や福祉の施設やサービス体制	6.4%	18.6%	2	8.3%	3	-8.6%	6	4.7%	4	0.0%	5	-50.0%	7	100.0%	1
⑧子育て支援	-1.2%	0.0%	2	2.8%	1	-2.9%	6	0.0%	2	0.0%	2	-100.0%	7	0.0%	2
⑨子どもの教育環境	2.9%	16.3%	1	5.6%	3	11.4%	2	-9.3%	5	-8.3%	4	-100.0%	7	-50.0%	6
⑩雇用（業種や企業規模の選択肢）	-22.5%	-16.3%	2	-11.1%	1	-17.1%	3	-34.9%	5	-33.3%	4	-100.0%	7	-50.0%	6
⑪近所づきあい	16.2%	27.9%	1	5.6%	5	22.9%	2	11.6%	4	16.7%	3	-50.0%	7	0.0%	6
⑫娯楽・レジャーの充実	-8.7%	0.0%	2	-5.6%	4	2.9%	1	-27.9%	5	0.0%	2	-50.0%	6	-50.0%	6
⑬歴史・文化資源の保存・活用	45.7%	60.5%	1	47.2%	4	51.4%	2	37.2%	5	8.3%	6	50.0%	3	0.0%	7

年代別満足度スコアの順位について、70代が最低スコアの数最も多くなっています。

また、20代では全体より満足度スコアが高い項目数が多くなっている一方、20、30、60、70代では「市内の移動（市電・バス）の便利さ」の満足度スコアが他の項目の満足度スコアと比較して低くなっています。

(2) 函館のまちに対し特に満足と思うこと、不満と思うこと

問 3

函館のまちに対し、特に満足と思うこと、不満と思うことをそれぞれ教えてください。

下表は、問 2 の回答内容を問 1 の選択肢別にまとめたものです。

今回のアンケート調査では、特に満足と思うことについて合計 128 人（回答者全体の 74.0%）、特に不満と思うことについて 139 人（回答者全体の 80.3%）からご意見をいただきました。なお、複数の分野にわたる意見については重複カウントしているため、意見総数と回答者数は一致しません。

① 特に満足と思うこと

項目	件数	割合
函館の住みやすさ	32	25.0%
日常の買い物の便利さ	18	14.1%
市内の移動(市電・バス)の便利さ	9	7.0%
市外への移動(船・飛行機・鉄道)の便利さ	5	3.9%
歩行、自転車での道路の使いやすさ	2	1.6%
自動車での道路の使いやすさ	2	1.6%
医療や福祉の施設やサービス体制	6	4.7%
子育て支援	3	2.3%
子どもの教育環境	0	0.0%
雇用の場(業種や企業規模の選択肢)	0	0.0%
近所づきあい	7	5.5%
娯楽・レジャーの充実	5	3.9%
歴史・文化資源の保存・活用	15	11.7%
その他	50	39.1%
合計	154	

「その他」の意見としては「食べ物がおいしい（特に新鮮な海産物がある）（11 件）」、「海や山があり自然に囲まれている（8 件）」、「景観がきれい（特に西部地区）（7 件）」、「観光資源が豊富（5 件）」、「気候がよく大きな災害もなく過ごしやすい（1 件）」等が挙げられています。

② 特に不満と思うこと

項目	件数	割合
函館の住みやすさ	7	5.0%
日常の買い物の便利さ	23	16.5%
市内の移動(市電・バス)の便利さ	31	22.3%
市外への移動(船・飛行機・鉄道)の便利さ	8	5.8%
歩行、自転車での道路の使いやすさ	23	16.5%
自動車での道路の使いやすさ	45	32.4%
医療や福祉の施設やサービス体制	14	10.1%
子育て支援	3	2.2%
子どもの教育環境	2	1.4%
雇用の場(業種や企業規模の選択肢)	10	7.2%
近所づきあい	5	3.6%
娯楽・レジャーの充実	15	10.8%
歴史・文化資源の保存・活用	1	0.7%
その他	20	14.4%
合計	207	

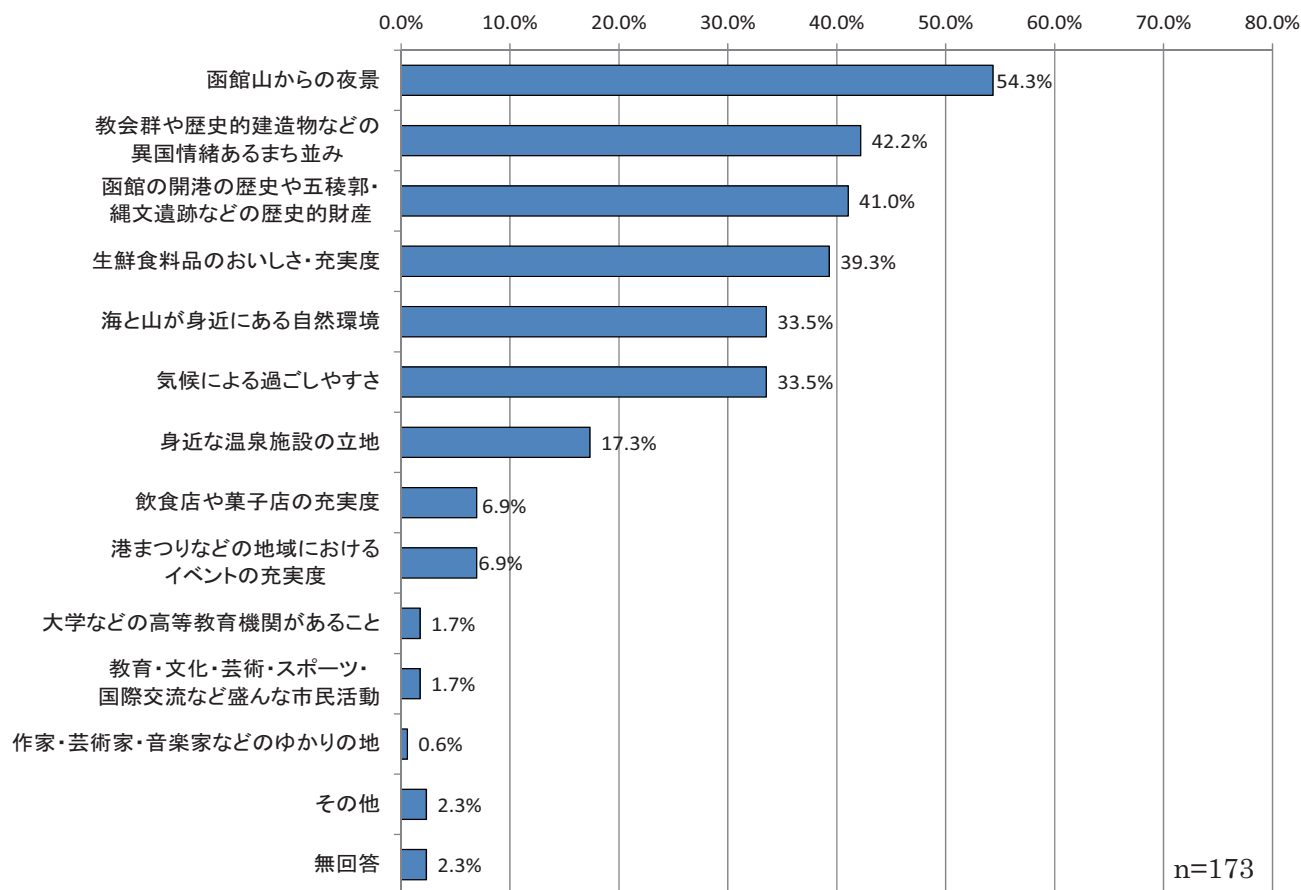
「その他」の意見としては「道路整備が不十分（4件）」、「運転マナー等が悪い（3件）」等が挙げられています。

3 「函館市の魅力」に関する調査結果

(1) 函館市の魅力や誇れるもの

問 4

函館市の魅力や誇れるものは何だと思いますか？
主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
函館山からの夜景	94	54.3%	51.2%	55.6%	54.3%	58.1%	41.7%	100.0%	50.0%
教会群や歴史的建造物などの異国情緒あるまち並み	73	42.2%	39.5%	61.1%	45.7%	32.6%	16.7%	50.0%	50.0%
函館の開港の歴史や五稜郭・縄文遺跡などの歴史的財産	71	41.0%	34.9%	36.1%	54.3%	46.5%	25.0%	0.0%	50.0%
生鮮食料品のおいしさ・充実度	68	39.3%	44.2%	30.6%	40.0%	39.5%	33.3%	50.0%	100.0%
海と山が身近にある自然環境	58	33.5%	27.9%	36.1%	37.1%	30.2%	50.0%	50.0%	0.0%
気候による過ごしやすさ	58	33.5%	30.2%	30.6%	25.7%	37.2%	66.7%	0.0%	50.0%
身近な温泉施設の立地	30	17.3%	16.3%	8.3%	25.7%	18.6%	25.0%	0.0%	0.0%
飲食店や菓子店の充実度	12	6.9%	18.6%	5.6%	0.0%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%
港まつりなどの地域におけるイベントの充実度	12	6.9%	2.3%	8.3%	5.7%	11.6%	8.3%	0.0%	0.0%
大学などの高等教育機関があること	3	1.7%	0.0%	2.8%	0.0%	2.3%	0.0%	50.0%	0.0%
教育・文化・芸術・スポーツ・国際交流など盛んな市民活動	3	1.7%	2.3%	0.0%	2.9%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%
作家・芸術家・音楽家などのゆかりの地	1	0.6%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	4	2.3%	2.3%	2.8%	2.9%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	4	2.3%	7.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%

「函館山からの夜景」が 54.3%と最も高く、「教会群や歴史的建造物などの異国情緒あるまち並み」が 42.2%で続いています。

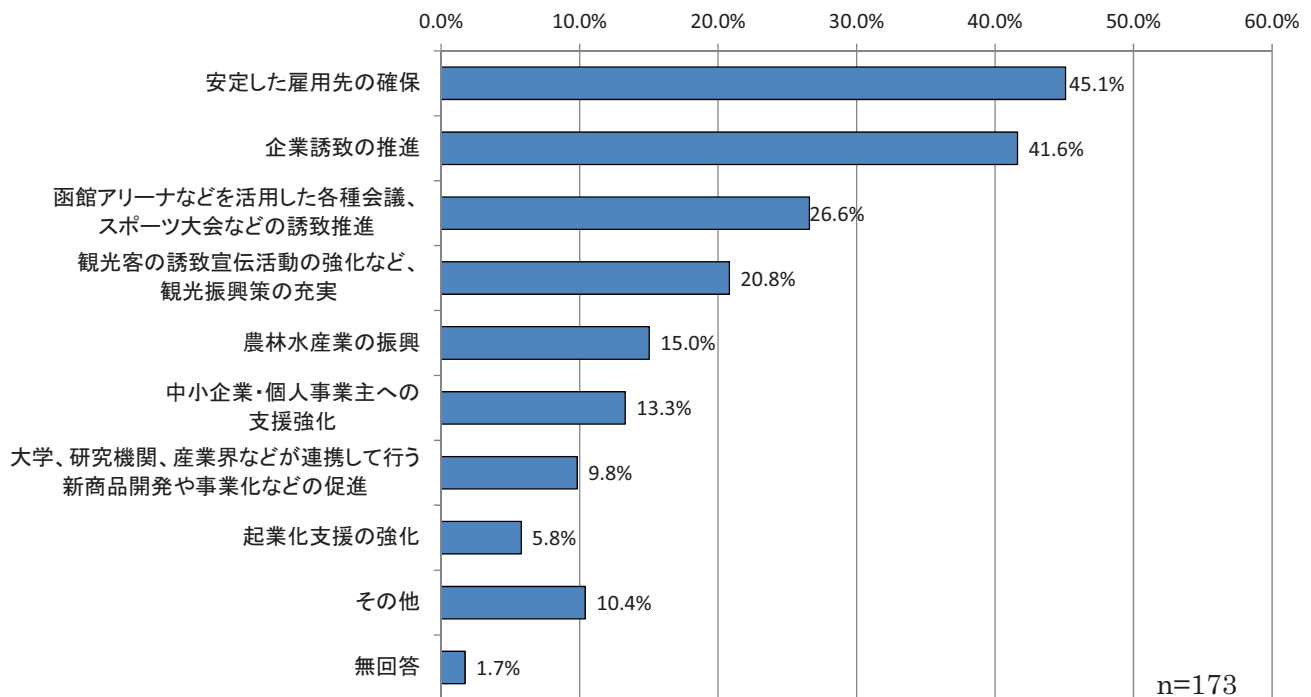
回答者の年代別では、20、40、50、70代で「函館山からの夜景」が最も高く、30代では「教会群や歴史的建造物などの異国情緒あるまち並み」が最も高くなっています。

4 「函館市の今後のまちづくり」に関する調査結果

(1) 函館市の経済を活性化するための施策

問 5

函館市の経済を活性化するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？
主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
安定した雇用先の確保	78	45.1%	37.2%	41.7%	51.4%	44.2%	66.7%	50.0%	50.0%
企業誘致の推進	72	41.6%	30.2%	41.7%	48.6%	39.5%	75.0%	50.0%	0.0%
函館アリーナなどを活用した各種会議、スポーツ大会などの誘致推進	46	26.6%	25.6%	38.9%	28.6%	16.3%	16.7%	50.0%	50.0%
観光客の誘致宣伝活動の強化など、観光振興策の充実	36	20.8%	23.3%	19.4%	22.9%	23.3%	8.3%	0.0%	0.0%
農林水産業の振興	26	15.0%	16.3%	13.9%	5.7%	20.9%	25.0%	0.0%	0.0%
中小企業・個人事業主への支援強化	23	13.3%	23.3%	11.1%	11.4%	9.3%	8.3%	0.0%	0.0%
大学、研究機関、産業界などが連携して行う新商品開発や事業化などの促進	17	9.8%	16.3%	2.8%	14.3%	7.0%	0.0%	50.0%	0.0%
起業化支援の強化	10	5.8%	4.7%	2.8%	2.9%	14.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	18	10.4%	16.3%	11.1%	2.9%	14.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	3	1.7%	0.0%	2.8%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	50.0%

「安定した雇用先の確保」が45.1%と最も高く、「企業誘致の推進」が41.6%で続いており、就労に関する施策へのニーズが高くなっています。

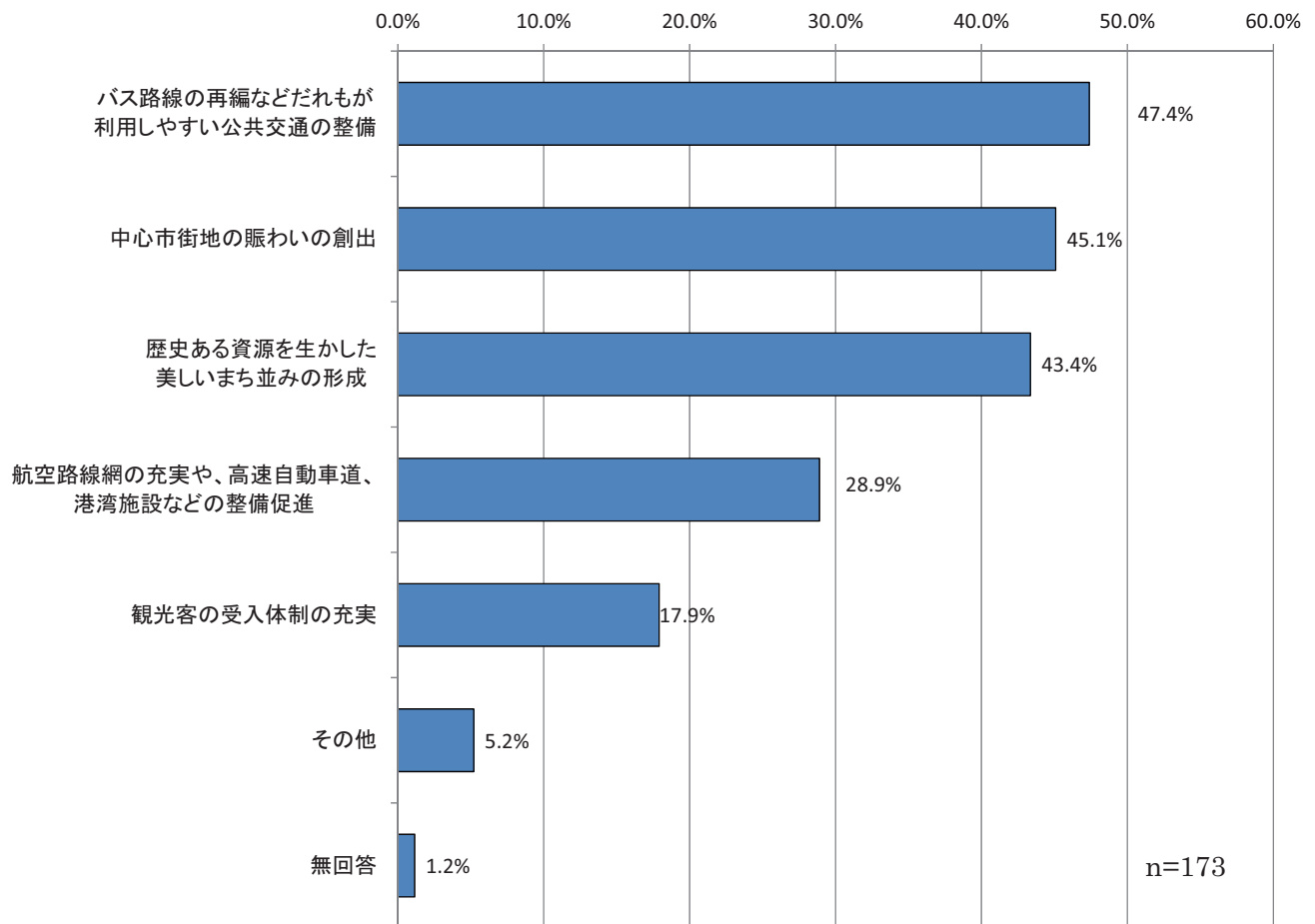
回答者の年代別では、60代を除き「安定した雇用先の確保」が最も高く、80歳以上を除き、「企業誘致の推進」が上位3項目に含まれており、全体と同様、就労に関する施策へのニーズが高くなっています。

「その他」の意見としては「大型商業施設の誘致（4件）」、「函館市のPR強化（対外・対内）（3件）」、「子育て支援（3件）」等が挙げられています。

(2) まちの魅力を高めるための取り組み

問 6

まちの魅力を高めるために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？
主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
バス路線の再編などだれもが利用しやすい公共交通の整備	82	47.4%	60.5%	36.1%	40.0%	44.2%	58.3%	100.0%	50.0%
中心市街地の賑わいの創出	78	45.1%	39.5%	50.0%	48.6%	46.5%	33.3%	0.0%	100.0%
歴史ある資源を生かした美しいまち並みの形成	75	43.4%	27.9%	33.3%	42.9%	55.8%	75.0%	100.0%	50.0%
航空路線網の充実や、高速自動車道、港湾施設などの整備促進	50	28.9%	39.5%	30.6%	28.6%	23.3%	16.7%	0.0%	0.0%
観光客の受入体制の充実	31	17.9%	25.6%	19.4%	17.1%	14.0%	8.3%	0.0%	0.0%
その他	9	5.2%	4.7%	8.3%	5.7%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	2	1.2%	0.0%	2.8%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

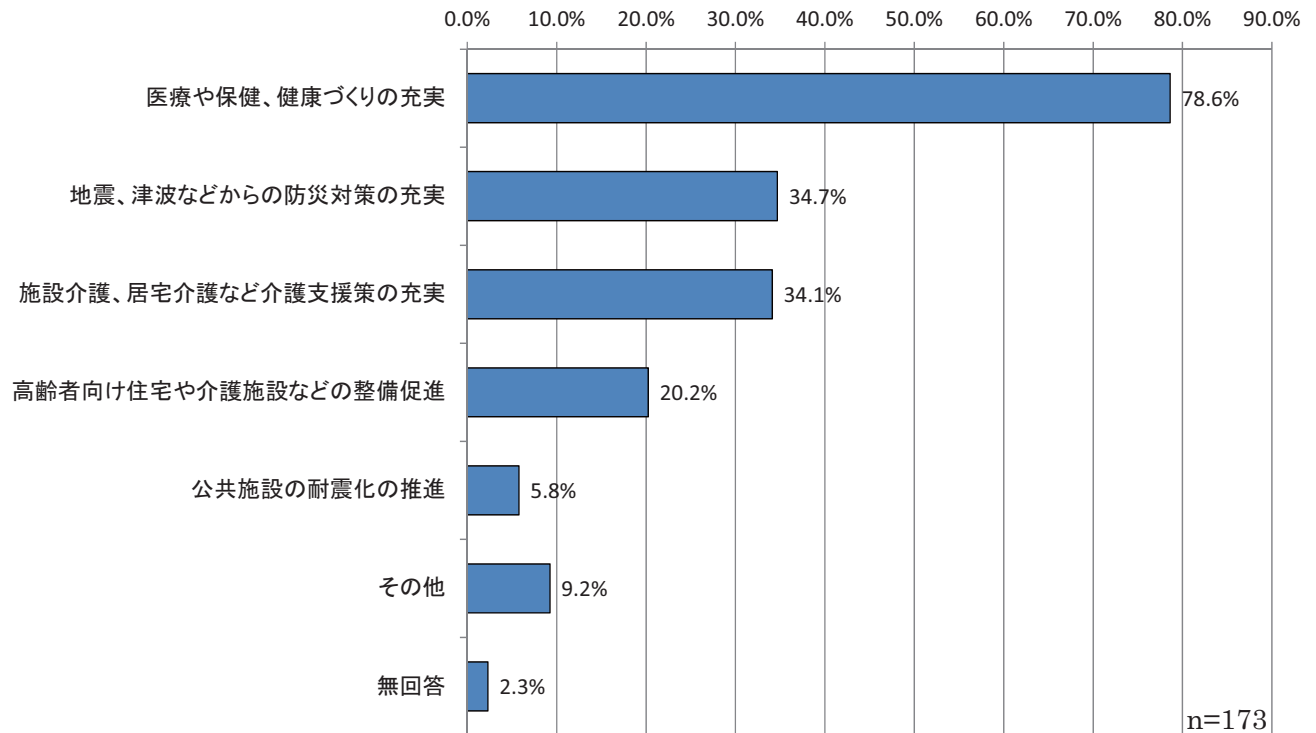
「バス路線の再編などだれもが利用しやすい公共交通の整備」が 47.4%と最も高く、「中心市街地の賑わいの創出」が 45.1%で続いています。

回答者の年代別では、20、70代では全体と同様に「バス路線の再編などだれもが利用しやすい公共交通の整備」が最も高くなっていますが、30、40代および80歳以上では「中心市街地の賑わいの創出」が最も高くなっています。

(3) 安心して住めるまちづくりを進めるために取り組むべきこと

問 7

だれもが安心して住めるまちづくりを進めるために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
医療や保健、健康づくりの充実	136	78.6%	83.7%	80.6%	77.1%	69.8%	83.3%	100.0%	100.0%
地震、津波などからの防災対策の充実	60	34.7%	44.2%	41.7%	40.0%	23.3%	16.7%	0.0%	0.0%
施設介護、居宅介護など介護支援策の充実	59	34.1%	37.2%	13.9%	22.9%	48.8%	50.0%	100.0%	50.0%
高齢者向け住宅や介護施設などの整備促進	35	20.2%	7.0%	8.3%	28.6%	30.2%	41.7%	0.0%	50.0%
公共施設の耐震化の推進	10	5.8%	9.3%	5.6%	5.7%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	16	9.2%	7.0%	11.1%	11.4%	9.3%	8.3%	0.0%	0.0%
無回答	4	2.3%	0.0%	8.3%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%

「医療や保健、健康づくりの充実」が78.6%と最も高く、「地震、津波などからの防災対策の充実」が34.7%、「施設介護、居宅介護など介護支援策の充実」が34.1%で続いています。

回答者の年代別では、各年代とも全体と同様に「医療や保健、健康づくりの充実」が最も高くなっています。

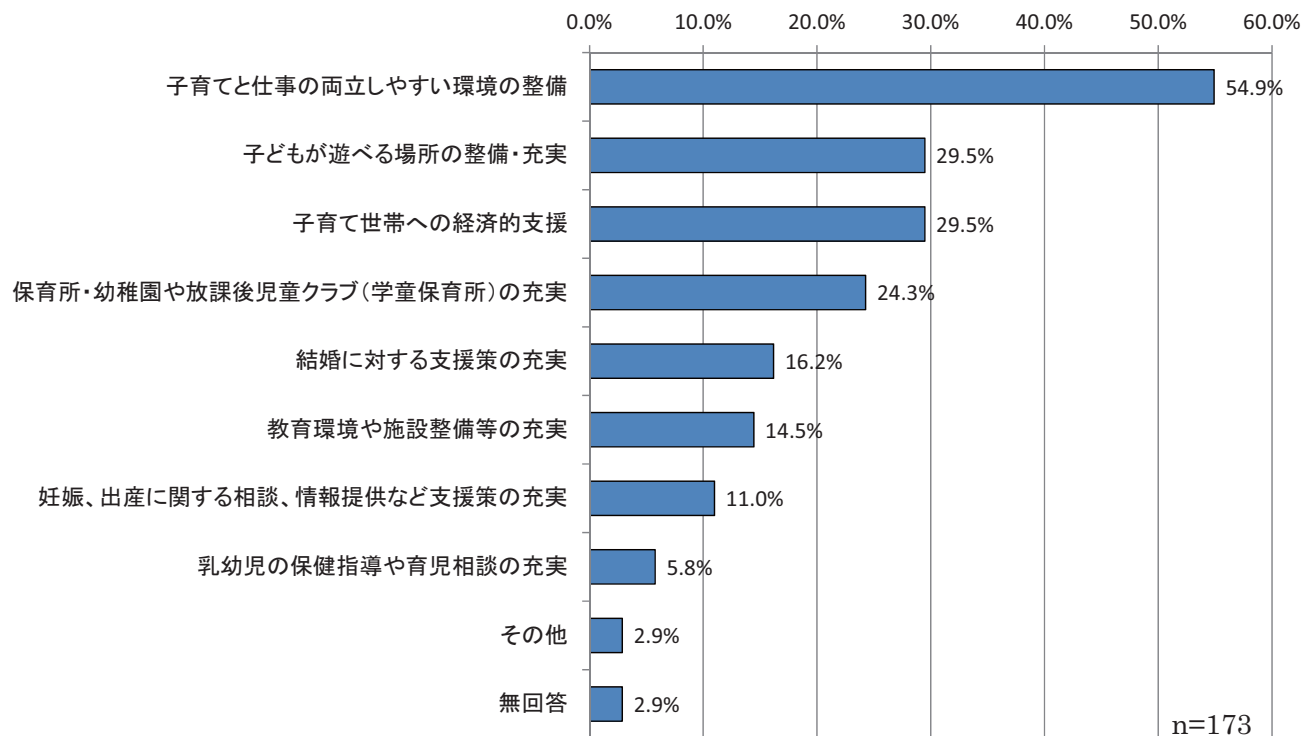
また、40代を除き、「施設介護、居宅介護など介護支援策の充実」が上位3項目に入っている一方で、40、50、60代および80歳以上では「高齢者向け住宅や介護施設などの整備促進」が上位3項目に入っています。

「その他」の意見としては「若い世代の転入促進（2件）」等が挙げられています。

(4) 安心して子どもを産み、子育てできる環境を整備するために、取り組むべきこと

問 8

安心して子どもを産み、子育てできる環境を整備するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
子育てと仕事の両立しやすい環境の整備	95	54.9%	58.1%	47.2%	48.6%	53.5%	83.3%	50.0%	100.0%
子どもが遊べる場所の整備・充実	51	29.5%	20.9%	38.9%	31.4%	34.9%	16.7%	0.0%	0.0%
子育て世帯への経済的支援	51	29.5%	30.2%	19.4%	45.7%	27.9%	25.0%	0.0%	0.0%
保育所・幼稚園や放課後児童クラブ(学童保育所)の充実	42	24.3%	32.6%	19.4%	17.1%	25.6%	25.0%	0.0%	50.0%
結婚に対する支援策の充実	28	16.2%	25.6%	13.9%	17.1%	7.0%	8.3%	100.0%	0.0%
教育環境や施設整備等の充実	25	14.5%	4.7%	13.9%	11.4%	30.2%	0.0%	50.0%	0.0%
妊娠、出産に関する相談、情報提供など支援策の充実	19	11.0%	7.0%	16.7%	11.4%	4.7%	25.0%	0.0%	50.0%
乳幼児の保健指導や育児相談の充実	10	5.8%	11.6%	0.0%	5.7%	4.7%	8.3%	0.0%	0.0%
その他	5	2.9%	2.3%	2.8%	5.7%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	5	2.9%	2.3%	8.3%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%

「子育てと仕事の両立しやすい環境の整備」が 54.9%と最も高く、「子どもが遊べる場所の整備・充実」、「子育て世帯への経済的支援」が 29.5%で続いています。

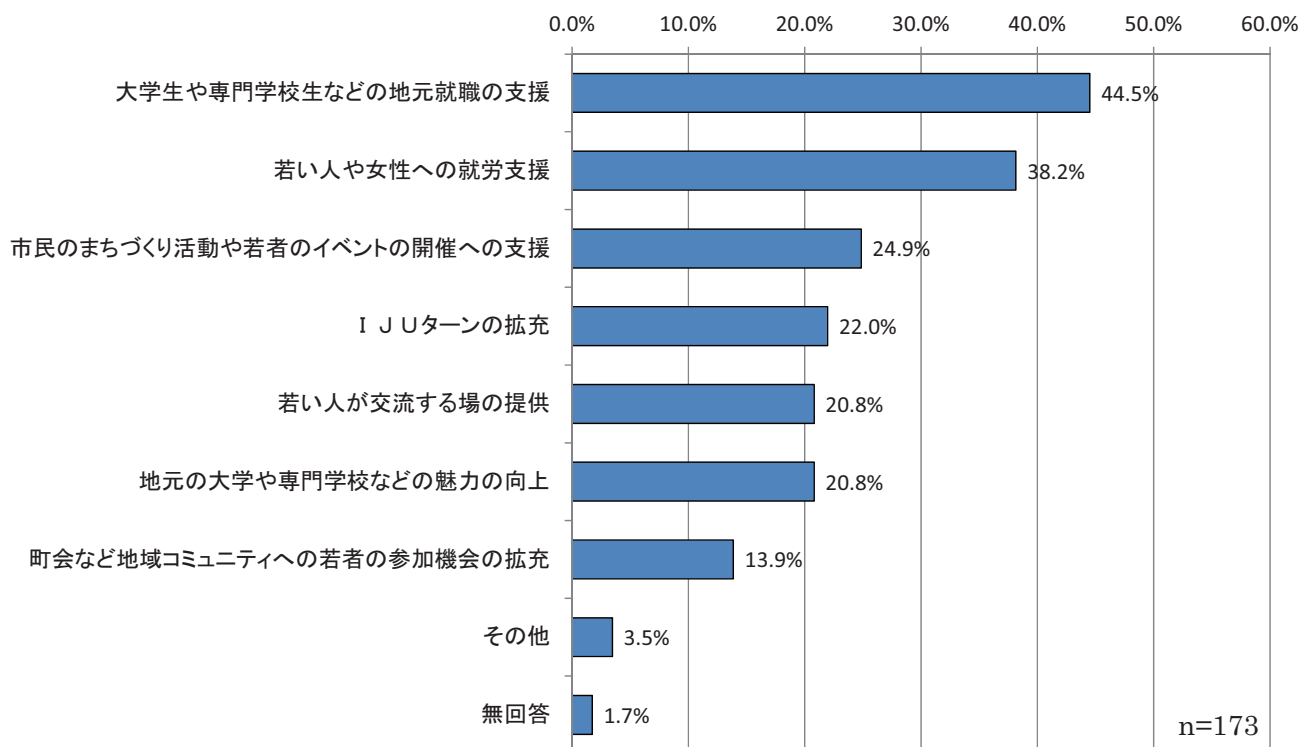
回答者の年代別では、70代を除き各年代とも全体と同様に「子育てと仕事の両立しやすい環境の整備」が最も高くなっています。

また、40代以下および60代では「子育て世帯への経済的支援」が上位3項目に入っている一方で、50代および70代では「教育環境や施設整備等の充実」が上位3項目に入っています。

(5) 若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するために取り組むべきこと

問 9

若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
大学生や専門学校生などの地元就職の支援	77	44.5%	39.5%	36.1%	37.1%	62.8%	41.7%	50.0%	50.0%
若い人や女性への就労支援	66	38.2%	41.9%	25.0%	34.3%	48.8%	41.7%	50.0%	0.0%
市民のまちづくり活動や若者のイベントの開催への支援	43	24.9%	27.9%	30.6%	22.9%	20.9%	25.0%	0.0%	0.0%
IJUターンの拡充	38	22.0%	11.6%	27.8%	22.9%	20.9%	41.7%	50.0%	0.0%
若い人が交流する場の提供	36	20.8%	32.6%	22.2%	25.7%	4.7%	25.0%	0.0%	0.0%
地元の大学や専門学校などの魅力の向上	36	20.8%	25.6%	22.2%	25.7%	14.0%	0.0%	50.0%	50.0%
町会など地域コミュニティへの若者の参加機会の拡充	24	13.9%	4.7%	13.9%	14.3%	20.9%	25.0%	0.0%	0.0%
その他	6	3.5%	4.7%	5.6%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	3	1.7%	2.3%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

「大学生や専門学校生などの地元就職の支援」が44.5%と最も高く、「若い人や女性への就労支援」が38.2%で続いています。

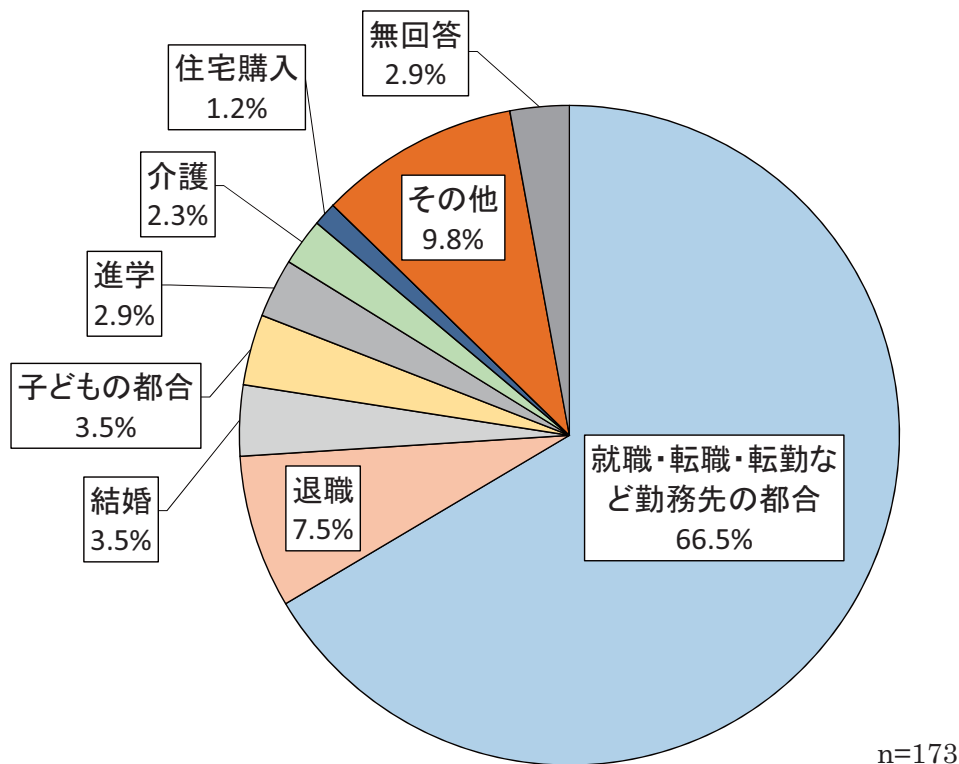
また、回答者の年代別では20代を除き、各年代とも全体と同様に「大学生や専門学校生などの地元就職の支援」が1位または2位と高くなっています。60、70代では、IJUターンの拡充を求める割合が高くなっています。

5 「転入」に関する調査結果

(1) 転入のきっかけ

問 10

転入のきっかけについて、主な理由として、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
就職・転職・転勤など勤務先の都合	115	66.5%	65.1%	80.6%	68.6%	72.1%	16.7%	50.0%	0.0%
退職	13	7.5%	7.0%	8.3%	2.9%	2.3%	41.7%	0.0%	0.0%
結婚	6	3.5%	4.7%	0.0%	8.6%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%
子どもの都合	6	3.5%	0.0%	2.8%	5.7%	0.0%	8.3%	0.0%	100.0%
進学	5	2.9%	7.0%	0.0%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
介護	4	2.3%	0.0%	0.0%	2.9%	4.7%	8.3%	0.0%	0.0%
住宅購入	2	1.2%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
災害	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	17	9.8%	14.0%	5.6%	0.0%	18.6%	8.3%	0.0%	0.0%
無回答	5	2.9%	2.3%	2.8%	2.9%	2.3%	8.3%	0.0%	0.0%

「就職・転職・転勤など勤務先の都合」が66.5%と最も高く、「退職」が7.5%が続いています。

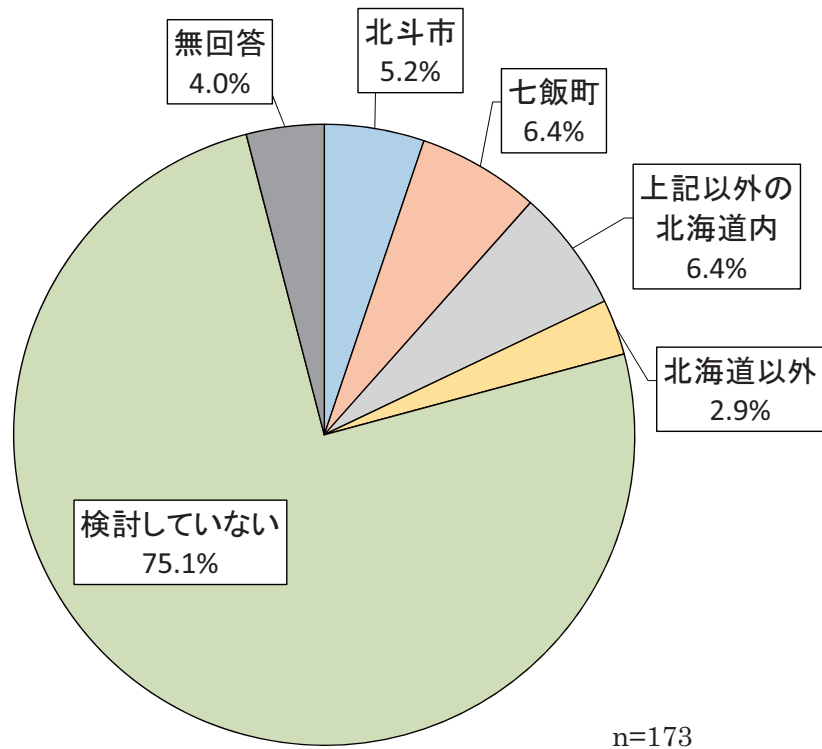
また、回答者の年代別では、60代および80歳以上を除き、各年代とも全体と同様に「就職・転職・転勤など勤務先の都合」が最も高くなっています。20代では「進学」、40代では「結婚」、「子どもの都合」、50代では「介護」、60代では「退職」の割合が高く、各年代の生活における転換点での転入が多くなっています。

「その他」の意見としては「実家があるから（3件）」、「離婚（3件）」等が挙げられています。

(2) 実際の転入先以外にも検討したところ

問 11

転入するにあたり実際の転入先以外にも検討したところがありますか？主なものを1つ選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
北斗市	9	5.2%	7.0%	5.6%	11.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
七飯町	11	6.4%	4.7%	11.1%	5.7%	4.7%	8.3%	0.0%	0.0%
上記以外の北海道内	11	6.4%	7.0%	5.6%	2.9%	7.0%	8.3%	50.0%	0.0%
北海道以外	5	2.9%	2.3%	2.8%	0.0%	2.3%	16.7%	0.0%	0.0%
検討していない	130	75.1%	76.7%	72.2%	80.0%	81.4%	50.0%	50.0%	50.0%
無回答	7	4.0%	2.3%	2.8%	0.0%	4.7%	16.7%	0.0%	50.0%

「検討していない」が75.1%と最も高く、「七飯町」、「上記以外の北海道内」が6.4%で続いています。

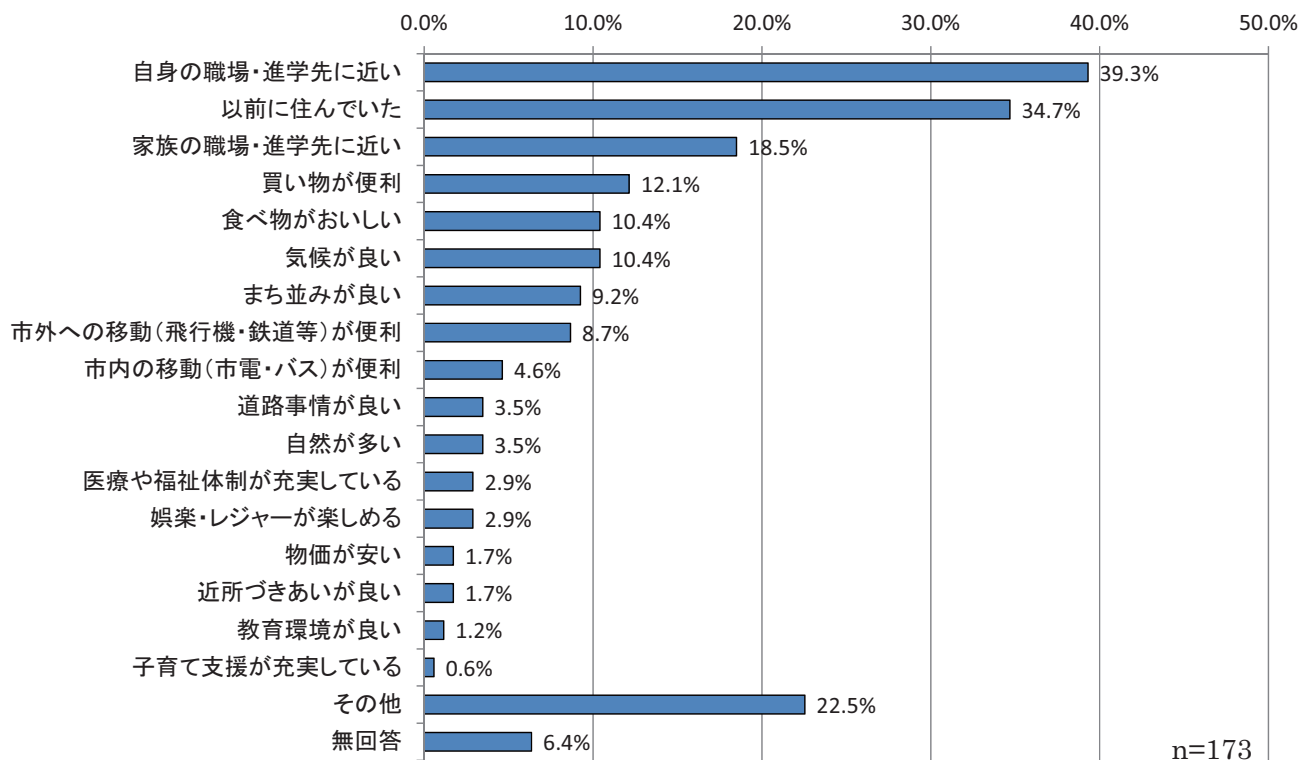
また、回答者の年代別では、各年代とも全体と同様に「検討していない」が最も高く、北海道内で比較検討を行っている割合が高くなっています。20代および40代では「北斗市」を、30代、50代および60代では「七飯町」を比較検討している割合が高くなっています。

一方、60代では「北海道以外」の割合が高くなっています。

(3) 転入先を選択した理由

問 12

函館市を転入先として選択した理由について、次の中から、3つまで選んで番号に○をつけてください。



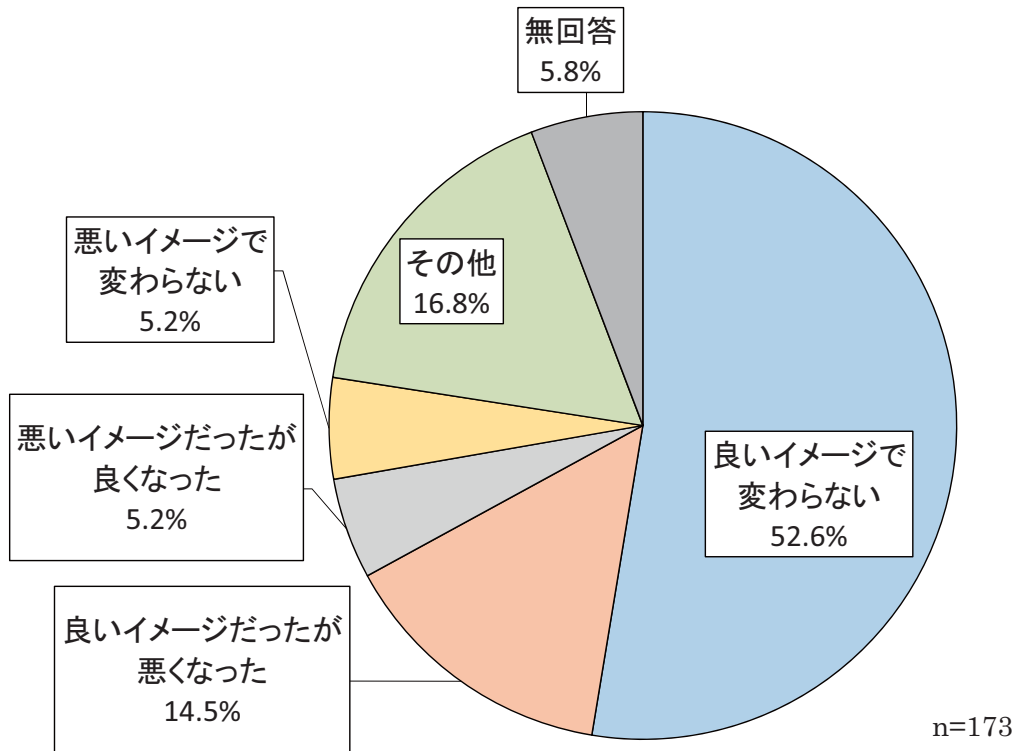
選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
自身の職場・進学先に近い	68	39.3%	65.1%	30.6%	34.3%	37.2%	8.3%	0.0%	0.0%
以前に住んでいた	60	34.7%	25.6%	38.9%	40.0%	32.6%	41.7%	50.0%	50.0%
家族の職場・進学先に近い	32	18.5%	11.6%	33.3%	25.7%	14.0%	0.0%	0.0%	0.0%
買い物が便利	21	12.1%	14.0%	13.9%	17.1%	7.0%	8.3%	0.0%	0.0%
食べ物がおいしい	18	10.4%	11.6%	11.1%	14.3%	7.0%	0.0%	50.0%	0.0%
気候が良い	18	10.4%	9.3%	0.0%	2.9%	14.0%	41.7%	100.0%	0.0%
まち並みが良い	16	9.2%	11.6%	5.6%	5.7%	11.6%	16.7%	0.0%	0.0%
市外への移動(飛行機・鉄道等)が便利	15	8.7%	14.0%	5.6%	11.4%	2.3%	8.3%	50.0%	0.0%
市内の移動(市電・バス)が便利	8	4.6%	7.0%	5.6%	2.9%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%
道路事情が良い	6	3.5%	4.7%	0.0%	8.6%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%
自然が多い	6	3.5%	0.0%	2.8%	5.7%	2.3%	8.3%	50.0%	0.0%
医療や福祉体制が充実している	5	2.9%	2.3%	2.8%	2.9%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
娯楽・レジャーが楽しめる	5	2.9%	4.7%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
物価が安い	3	1.7%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%
近所づきあいが良い	3	1.7%	2.3%	0.0%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
教育環境が良い	2	1.2%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%
子育て支援が充実している	1	0.6%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	39	22.5%	11.6%	16.7%	20.0%	39.5%	25.0%	0.0%	50.0%
無回答	11	6.4%	4.7%	8.3%	0.0%	7.0%	25.0%	0.0%	0.0%

「自身の職場・進学先に近い」が39.3%と最も高く、「以前に住んでいた」が34.7%が続いています。また、回答者の年代別では、20代・50代では「自身の職場・進学先に近い」が最も高くなっている一方、30代・40代・60代以上では「以前に住んでいた」の割合が全体よりも高くなっています。

(4) 転入する前と後での函館市のイメージ

問 13

転入する前と後で、函館市のイメージが変わりましたか？あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
良いイメージで変わらない	91	52.6%	55.8%	50.0%	42.9%	62.8%	41.7%	50.0%	50.0%
良いイメージだったが悪くなった	25	14.5%	11.6%	19.4%	14.3%	11.6%	16.7%	50.0%	0.0%
悪いイメージだったが良くなった	9	5.2%	9.3%	2.8%	5.7%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%
悪いイメージで変わらない	9	5.2%	2.3%	8.3%	8.6%	2.3%	8.3%	0.0%	0.0%
その他	29	16.8%	18.6%	11.1%	22.9%	14.0%	16.7%	0.0%	50.0%
無回答	10	5.8%	2.3%	8.3%	5.7%	4.7%	16.7%	0.0%	0.0%

「良いイメージで変わらない」が 52.6%と最も高く、「良いイメージだったが悪くなった」が 14.5%で続いています。「良いイメージで変わらない」、「悪いイメージだったが良くなった」を合わせると約 60%の人が転入後、函館市に対して良いイメージを持っています。

また、回答者の年代別では、各年代とも全体と同様に「良いイメージで変わらない」が最も高く、「良いイメージだったが悪くなった」も 80 歳以上を除き、上位に入っています。特に、30、60、70 代では「良いイメージだったが悪くなった」の割合が全体よりも高くなっています。

「その他」の意見としては「どちらでもない (7 件)」、「特に変わらない (5 件)」、「もっと栄えていると思っていたが、意外と田舎な感じがした (2 件)」等が挙げられています。

6 自由意見のまとめ

下表は、アンケート調査票の自由意見欄に記入された内容を、平成 19 年に策定した「新函館市総合計画」の施策の体系別にまとめたものです。

今回のアンケート調査では、合計 87 人（回答者全体の 50.3%）からご意見をいただきました。

なお、複数の分野にわたる意見については重複カウントしているため、意見総数と回答者数は一致しません。

部	章	節	件数	割合
心豊かな人と文化をはぐむまち	創造性とふれあいをはぐむ社会の形成	生涯学習の推進	0	0.0%
		文化芸術の振興	3	3.4%
		スポーツ・レクリエーションの振興	1	1.1%
		青少年の健全育成	0	0.0%
		男女共同参画の推進	2	2.3%
		国際化の推進	1	1.1%
		都市間交流の推進	1	1.1%
	次代を担う人材の育成と知の集積	幼児教育の充実	1	1.1%
		義務教育の充実	2	2.3%
		高校教育の充実	0	0.0%
		特別支援教育の充実	0	0.0%
		高等教育の充実	3	3.4%
		学術研究機能の充実	0	0.0%
共に支えあい健やかに暮らせるまち	地域福祉社会の形成	地域福祉の推進	7	8.0%
		児童福祉の推進	15	17.2%
		高齢者福祉の推進	3	3.4%
		障がい者福祉の推進	0	0.0%
		低所得者援護対策の充実	1	1.1%
	健康を守る社会の形成	健康づくりの推進	0	0.0%
		医療環境の充実	6	6.9%
快適で安らぎのある住み良いまち	快適な生活環境の整備	生活衛生対策の推進	0	0.0%
		市街地の整備	10	11.5%
		住環境の整備	15	17.2%
		生活道路の整備	7	8.0%
		公共交通の充実	11	12.6%
		水道水の安定供給	0	0.0%
		エネルギーの安定供給	0	0.0%
	安全・安心な市民生活の確保	地域情報化の推進	1	1.1%
		防災対策の充実	1	1.1%
		消防・救急体制の充実	0	0.0%
		交通安全対策の推進	4	4.6%
		防犯対策の推進	0	0.0%
		消費生活の向上	4	4.6%
環境と共生する美しいまち	地球にやさしいまちづくりの推進	環境保全対策の推進	1	1.1%
		廃棄物対策の推進	2	2.3%
		汚水対策の充実	0	0.0%
	うるおいのある都市空間の形成	魅力ある景観の形成	6	6.9%
		水と緑の空間整備	0	0.0%
活力にあふれたにぎわいのあるまち	地域を支える産業の振興	観光・コンベンションの振興	20	23.0%
		農林業の振興	1	1.1%
		水産業の振興	0	0.0%
		工業の振興	0	0.0%
		商業の振興	10	11.5%
		新産業の創出と企業立地の促進	11	12.6%
		雇用環境の向上	26	29.9%
	総合交通体系の確立	鉄道輸送の充実	4	4.6%
		幹線道路の整備	2	2.3%
		港湾機能の充実	0	0.0%
その他	その他	空港機能の充実	2	2.3%
		その他	6	6.9%
合計			190	

自由記述回答の主な内容は、次のとおりです。

① 創造性とふれあいをはぐくむ社会の形成

「共働き世帯が多いことから、そのような世帯に対して理解し、住みやすいまちになるようにしてほしい」という意見が挙げられています。

また、「観光地として情緒あるまち並みや自然を活かしたイベントを行うなどで多くの人が参加できるイベントがあれば良い」という意見も挙げられています。

② 時代を担う人材の育成と知の集積

「子どもがのびのびと生活できるような環境を整えてほしい」という意見が挙げられています。

また、「高齢者への支援は十分になされているが子どもに対する支援が少ない」といった意見も挙げられています。

③ 地域福祉社会の形成

「近隣自治体と比較した場合に、子育て支援の充実や補助・助成が十分ではない」といった意見が多く挙げられています。

また、「子どもや高齢者、障がい者にとって安心して暮らせるようなまちであってほしい」という意見も挙げられています。

④ 健康を守る社会の形成

「病院の整備や医療体制が充実するようにしてほしい」という意見が挙げられています。

⑤ 快適な生活環境の整備

「道路整備や公共交通機関の利用のしづらさ」について意見が多く挙がりました。「バスは路線が多くても、実際に利用する際にどの路線に乗っていいのか、また本数が少ない」といった意見も多く挙げられています。

⑥ 安全・安心な市民生活の確保

「運転マナーが悪く、生活に支障をきたしている」といった意見が挙げられています。

⑦ 地球にやさしいまちづくりの推進

「観光のまちとして、まちの中にごみが多く残念である」といった意見が挙げられています。

⑧ うるおいのある都市空間の形成

「観光客も同様であるが、函館市に住んでいる住民にも魅力ある施設やレジャーのあるまちにしてほしい」といった意見が挙げられています。

⑨ 地域を支える産業の振興

「住民としては、大型商業施設やレジャー施設が充実していない」といった意見が多く挙げられています。

また、「雇用の場が少ないことから、若い人が函館から外へ出て行ってしまうことを危惧する」といった意見も多く挙げられています。

⑩ 総合交通体系の確立

「公共交通機関の利便性を向上してほしい」といった意見が挙げられています。



平成27年度 函館市 「地方創生に関するアンケート調査」のお願い

市民の皆様には、日頃から市政の推進にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、現在、函館市の人口は269,628人（平成27年3月末日現在の住民基本台帳）で、昭和55年のピーク時の345,165人に比べ75,537人の減少となっており、このままでは消費や生産活動が縮小し、地域経済が低迷するほか、まちの活力の減退、住環境の悪化などまちづくりにも様々な影響をおよぼすことが懸念されます。

そのため、函館市は現在、人口減少に歯止めをかけるとともに、将来にわたって活力のある地域社会の形成に向けて、函館市の2060年までの人口の将来展望を提示する「人口ビジョン」および今後5か年の対策を取りまとめた「総合戦略」の策定を進めております。

つきましては、市民の皆様のご意見を伺うためアンケート調査を実施いたしますので、ご多用のところお手数をおかけいたしますが、本調査にご協力くださいますようお願いいたします。

なお、今回の調査は、平成27年3月～4月の間に本市に転入された20歳以上の方から、500人を無作為に抽出させていただき実施するものです。

平成27年5月

函 館 市 企 画 部

記入上の注意

- 1 お送りした**あて名のご本人**がお答えください。氏名は記入しないでください。
- 2 ご回答いただいた内容は、個人が特定できないように、全て統計的に処理いたします。
- 3 何らかの事情により、ご本人が記入できない場合には、ご本人の意思を反映してご家族の方などが記入してください。
- 4 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、**平成27年6月12日(金)**までに郵便ポストに投函してください。（**切手は不要です。**）
- 5 記入にあたって不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先 ☎040-8666 函館市東雲町4番13号
函館市企画部計画推進室計画調整課（新計画策定担当）
TEL：0138-21-3821 FAX：0138-23-7604
E-mail：shinkeikaku@city.hakodate.hokkaido.jp

◆「あなた自身のこと」についてお聞きます。

問1 それぞれの内容についてお答えください。

(1) あなたの性別は？ （番号１つに○）	1 男性 2 女性
(2) あなたの年齢は？ （年齢を記入）	満_____歳
(3) あなたの居住地は？ （町名を記入）	函館市_____町_____丁目
(4) あなたの職業は？ （番号１つに○）	1 農林業 2 水産業 3 建設業 4 サービス業 5 公務員 6 教員・研究員 7 製造業 8 情報・通信業 9 運輸業 10 金融・保険業 11 医療・福祉業 12 専業主婦（主夫） 13 パート・アルバイト・派遣 14 学　生 15 無　　職 16 その他（ ）
(5) 住宅の形態は？ （番号１つに○）	1 持家（一戸建て） 2 持家（マンション等） 3 借家（民営） 4 借家（公営） 5 社宅 6 その他（ ）
(6) あなたの通勤・通学地は？ （番号１つに○）	1 函館市内 2 北斗市 3 七飯町 4 通勤・通学していない → （９）へ 5 その他（ ）
(7) 通勤・通学手段は何ですか？ （番号１つに○）	1 自家用車・バイク 2 市電・バス等の公共交通 3 自転車・徒歩 4 その他（ ）
(8) あなたは、現在、結婚していますか？（番号１つに○）	1 結婚している（既婚） 2 独身（未婚） 3 独身（結婚歴あり） 4 その他（ ）

(9) あなたの家族構成は？ (番号1つに○)	1 単身 2 夫婦のみ 3 親子 4 三世代 5 その他 ()
(10) あなたには現在養育中の子どもがいますか？ (番号1つに○) また、「いる」場合には、何人いますか？合計人数及びその内訳を<u>数字で記入</u>してください。	1 いる 合 計 _____人 小学生未満 _____人 小 学 生 _____人 中 学 生 _____人 高 校 生 _____人 大学生・短大生・専門学校生 _____人 そ の 他 _____人 2 いない
(11) あなたのお住まいの世帯年収はおおよそどれにあてはまりますか？ (番号1つに○)	1 300万円未満 2 300万円以上～500万円未満 3 500万円以上～700万円未満 4 700万円以上～1,000万円未満 5 1,000万円以上
(12) 市政情報の入手方法としてよく活用するものはどれですか？ (該当する番号全てに○)	1 市政はこだて 2 市のホームページ 3 広報テレビ番組 4 広報ラジオ番組 5 新聞・ニュース番組 6 市発行のパンフレット等 7 自治会等の回覧板 8 市政情報は知らない 9 その他 ()
(13) 転入前のお住まいは？ (番号1つに○)	1 北斗市 2 七飯町 3 上記以外の北海道内 (市町村名:) 4 北海道以外 (都府県・市町村名:)

◆「函館のまち」についてお聞きます。

問2 函館のまちに対し、あなたはどの程度満足していますか？
それぞれの項目ごとに、右のあてはまる番号から1つ選んで○をつけてください。

項 目	満足	まあ満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
1 函館の住みやすさ	5	4	3	2	1
2 日常の買い物の便利さ	5	4	3	2	1
3 市内の移動（市電・バス）の便利さ	5	4	3	2	1
4 市外への移動（船・飛行機・鉄道）の便利さ	5	4	3	2	1
5 歩行、自転車での道路の使いやすさ	5	4	3	2	1
6 自動車での道路の使いやすさ	5	4	3	2	1
7 医療や福祉の施設やサービス体制	5	4	3	2	1
8 子育て支援	5	4	3	2	1
9 子どもの教育環境	5	4	3	2	1
10 雇用の場（業種や企業規模の選択肢）	5	4	3	2	1
11 近所づきあい	5	4	3	2	1
12 娯楽・レジャーの充実	5	4	3	2	1
13 歴史・文化資源の保存・活用	5	4	3	2	1

問3 函館のまちに対し、特に満足と思うこと、不満と思うことをそれぞれ教えてください。
（自由記述、問2の項目から選んでもかまいません。）

- | | | | |
|-------------|---|--|---|
| 1 特に満足と思うこと | （ | | ） |
| 2 特に不満と思うこと | （ | | ） |

◆「函館市の魅力」についてお聞きます。

問4 函館市の魅力や誇れるものは何だと思いますか？
主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 函館の開港の歴史や五稜郭・縄文遺跡などの歴史的財産
- 2 函館山からの夜景
- 3 教会群や歴史的建造物などの異国情緒あるまち並み
- 4 生鮮食料品のおいしさ・充実度
- 5 飲食店や菓子店の充実度
- 6 身近な温泉施設の立地
- 7 港まつりなどの地域におけるイベントの充実度
- 8 大学などの高等教育機関があること
- 9 作家・芸術家・音楽家などのゆかりの地
- 10 教育・文化・芸術・スポーツ・国際交流など盛んな市民活動
- 11 海と山が身近にある自然環境
- 12 気候による過ごしやすさ
- 13 その他（ ）

◆「函館市の今後のまちづくり」についてお聞きます。

問5 函館市の経済を活性化するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 農林水産業の振興
- 2 企業誘致の推進
- 3 起業化支援の強化
- 4 安定した雇用先の確保
- 5 中小企業・個人事業主への支援強化
- 6 大学、研究機関、産業界などが連携して行う新商品開発や事業化などの促進
- 7 観光客の誘致宣伝活動の強化など、観光振興策の充実
- 8 函館アリーナなどを活用した各種会議、スポーツ大会などの誘致推進
- 9 その他（ ）

問6 まちの魅力を高めるために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？
主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 歴史ある資源を生かした美しいまち並みの形成
- 2 観光客の受入体制の充実
- 3 航空路線網の充実や、高速自動車道、港湾施設などの整備促進
- 4 バス路線の再編など誰もが利用しやすい公共交通の整備
- 5 中心市街地の賑わいの創出
- 6 その他（

問7 だれもが安心して住めるまちづくりを進めるために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 医療や保健、健康づくりの充実
- 2 地震、津波などからの防災対策の充実
- 3 公共施設の耐震化の推進
- 4 施設介護、居宅介護など介護支援策の充実
- 5 高齢者向け住宅や介護施設などの整備促進
- 6 その他（ ）

問8 安心して子どもを産み、子育てできる環境を整備するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 結婚に対する支援策の充実
- 2 妊娠、出産に関する相談、情報提供など支援策の充実
- 3 乳幼児の保健指導や育児相談の充実
- 4 子どもが遊べる場所の整備・充実
- 5 保育所・幼稚園や放課後児童クラブ（学童保育所）の充実
- 6 教育環境や施設整備等の充実
- 7 子育てと仕事の両立しやすい環境の整備
- 8 子育て世帯への経済的支援
- 9 その他（

問9 若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 若い人や女性への就労支援
- 2 若い人が交流する場の提供
- 3 市民のまちづくり活動や若者のイベントの開催への支援
- 4 IJUターンの拡充
- 5 大学生や専門学校生などの地元就職の支援
- 6 地元の大学や専門学校などの魅力の向上
- 7 町会など地域コミュニティへの若者の参加機会の拡充
- 8 その他（

◆「転入」についてお聞きします。

問10 転入のきっかけについて、主な理由として、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------|
| 1 就職・転職・転勤など勤務先の都合 | 2 進学 |
| 3 退職 | 4 結婚 |
| 5 介護 | 6 子どもの都合 |
| 7 住宅購入 | 8 災害 |
| 9 その他（ | ） |

問11 転入するにあたり実際の転入先以外にも検討したところがありますか？

主なものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------|
| 1 北斗市 | 2 七飯町 |
| 3 上記以外の北海道内（市町村名：（ | ） |
| 4 北海道以外（都府県・市町村名：（ | ） |
| 5 検討していない | |

問12 函館市を転入先として選択した理由について、次の中から、3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1 自身の職場・進学先に近い | 2 家族の職場・進学先に近い |
| 3 市内の移動（市電・バス）が便利 | 4 市外への移動（飛行機・鉄道等）が便利 |
| 5 道路事情が良い | 6 医療や福祉体制が充実している |
| 7 子育て支援が充実している | 8 教育環境が良い |
| 9 物価が安い | 10 まち並みが良い |
| 11 自然が多い | 12 買い物が便利 |
| 13 近所づきあいが良い | 14 娯楽・レジャーが楽しめる |
| 15 食べ物がおいしい | 16 気候が良い |
| 17 以前に住んでいた | 18 その他（ |
| | ） |

問13 転入する前と後で、函館市のイメージが変わりましたか？

あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 良いイメージで変わらない | 2 良いイメージだったが悪くなった |
| 3 悪いイメージだったが良くなった | 4 悪いイメージで変わらない |
| 5 その他（ | ） |

人口減少対策やまちづくりに関することでご意見がありましたら、自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、6月12日（金）までに郵便ポストに投函してください。